

報第10号

球磨川くだり株式会社の経営状況について

球磨川くだり株式会社の経営の状況を説明する書類（第59期決算報告書及び第60期事業計画書）を別紙のとおり報告する。

令和3年6月1日提出

人吉市長 松岡 隼人

第 5 9 期 決算報告書
第 6 0 期 事業計画書

球磨川くだり株式会社

人吉市下新町 3 3 3 - 1
代表取締役 瀬崎 公介

第 5 9 期

決 算 報 告 書

自 令和 2 年 3 月 1 日
至 令和 3 年 2 月 2 8 日

第59期 事業報告書

自 令和 2年3月 1日
至 令和 3年2月28日

事業概況

第59期の事業の概況と経過をご報告申し上げます。詳細は別紙「決算報告書」をご覧ください。

当期の売上高は4,519千円（前期比5.1%）となり、84,193千円の減少となりました。主な要因は、新型コロナウイルスの感染拡大、令和2年7月豪雨による壊滅的な被災で乗船客数が26,024人減少（前期：26,971人、当期：947人）しました。

売上原価は営業活動がほとんどできなかった為に大きく減少し、販管費は被災後の復旧費用が必要だった為に横ばいとなり、それぞれ前期比で50,918千円の減少、416千円の増加となりました。

営業利益は上記の通り1年を通して売上がほとんど出来なかった為に37,034千円の赤字となり、前期比34,002千円の悪化となりました。経常損失は36,640千円の赤字となったものの、雇用調整金や持続化給付金、保険金収入等の特別利益が69,505千円、被災による雑損失や固定資産除却損等の特別損失が18,672千円発生したこともあり、当期純利益は13,941千円の黒字となりました。

【売上高～営業利益の前期比較】

勘定科目	R2/2 期	R3/2 期	増減額	前年比
売上高	88,712	4,519	▲84,193	5.1%
川下り	62,153	4,206	▲57,947	6.8%
売店	4,018	313	▲3,705	7.8%
ラフティング	6,536	0	▲6,536	0%
美化業務	16,004	0	▲16,004	0%
売上原価	62,088	11,170	▲50,918	18.0%
売上純利益（粗利）	26,623	▲6,963	▲33,586	-
販管費合計	29,655	30,071	416	101.4%
営業利益	▲3,032	▲37,034	▲34,002	▲1221.4%

遊覧船事業

当期は、令和2年1月末より新型コロナウイルスの感染拡大、7月4日発生
の令和2年7月豪雨により壊滅的な被害を受け、全ての船が破損、全ての備
品が流出、すべての車両が水没したことにより1年を通じて営業活動がほと
んど出来なかったに等しい状況です。

そのようなこともあり、乗船客はわずか947人（前期比3.5%）にとどまり
ました。

ラフティング事業

ラフティングにつきましても上記の遊覧船事業の理由と同様に、実績と
いたしましては、利用者11人（前期比1.0%）となりました。

その他事業

売店物品販売につきましても同様に売上313千円（前期比7.8%）となりま
した。

また、冬場の閑散期における収入確保策である美化請負事業につきまし
ては、令和2年豪雨災害により事業自体が実施されず、実績といたしまして
はゼロという結果となりました。

貸 借 対 照 表

令和 3年 2月28日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 47,002,860】	【流 動 負 債】	【 19,385,133】
現金・預金	43,264,272	買 掛 金	265
前 払 費 用	1,720,394	短 期 借 入 金	15,000,000
未 収 消 費 税 等	2,018,194	未 払 金	3,448,422
【固 定 資 産】	【 119,190,922】	未 払 法 人 税 等	251,800
[有 形 固 定 資 産]	[111,649,489]	未 払 費 用	107,120
建 物	83,072,457	預 り 金	287,694
建 物 附 属 設 備	5,043,502	楽 天 カ ー ド	289,832
構 築 物	41,704,994	【固 定 負 債】	【 166,725,648】
車 両 運 搬 具	822,000	長 期 借 入 金	166,725,648
工 具 器 具 備 品	1,070,685		
土 地	84,748,678	負 債 合 計	186,110,781
船 舶	7,729,600	純 資 産 の 部	
減 価 償 却 累 計 額	△112,542,427	【株 主 資 本】	【 △19,916,999】
[無 形 固 定 資 産]	[7,531,433]	[資 本 金]	[24,000,000]
借 地 権	1,257,528	[利 益 剰 余 金]	[△43,916,999]
電 話 加 入 権	1,023,905	利 益 準 備 金	4,240,000
温 泉 利 用 権	5,250,000	(その他利益剰余金)	(△48,156,999)
[投資その他の資産]	[10,000]	繰 越 利 益 剰 余 金	△48,156,999
差 入 保 証 金	10,000	純 資 産 合 計	△19,916,999
資 産 合 計	166,193,782	負 債 ・ 純 資 産 合 計	166,193,782

損 益 計 算 書

自 令和 2年 3月 1日

至 令和 3年 2月28日

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
【純 売 上 高】		
売 上 高	4,518,564	4,518,564
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	200,000	
仕 入 高	4,499	
仕 入 高 — 商 品	107,848	
当期製品製造原価	11,169,661	11,482,008
売 上 総 損 失		6,963,444
【販売費及び一般管理費】		30,070,286
営 業 損 失		37,033,730
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	249	
他 営 業 外 収 益	201,547	
雑 収 入	2,786,869	2,988,665
【営 業 外 費 用】		
支払利息・手形売却損	2,313,264	
他 営 業 外 損 失	281,543	2,594,807
経 常 損 失		36,639,872
【特 別 利 益】		
特 別 利 益	69,504,630	69,504,630
【特 別 損 失】		
特 別 損 失	18,671,791	18,671,791
税引前当期純利益		14,192,967
法人税、住民税及び事業税		251,800
当 期 純 利 益		13,941,167

第 6 0 期

事 業 計 画 書

自 令和 3 年 3 月 1 日

至 令和 4 年 2 月 2 8 日

事業計画

ご承知の通り新型コロナウイルスによる感染症が未だ収束が見えない状況で我が国は厳しい状況が続いていますが、一方欧米を中心にワクチンの接種が進み少しずつ明るい兆しも見えつつあるところです。しかし、当社は令和2年7月豪雨の壊滅的な被害により未だ営業の再開が出来ていないところです。加えて5月15日(土)に九州北部は観測史上2番目に早い梅雨入りとなり、復興途中の球磨川流域地域においては試練が続いています。

豪雨災害の影響で筆頭株主である人吉市の支援が一切見込めない中、業務提携を結ぶ(株)シークルーズの手厚い支援、各分野のスペシャリストが揃う同社のビジネスパートナーからなる再建チームのサポートのもとで被災直後の昨年8月から再建計画の立案に着手し、国のなりわい再建支援補助金を最大限に活用し再建を目指しているところです。

順調にいけば本年7月より人吉発船場を観光複合施設「HASSENBA」としてリニューアルオープンする予定です。これまでの乗船券売り場や待合所としての機能だけではなく、飲食部門「九州パンケーキカフェ人吉HASSENBA店」、物販部門「HITO-KUMA STORE」なども併設し、これまで本市になかった観光拠点施設としての役割を目指します。

加えて、昨年秋より準備を進めてきた「人吉はっけんサイクリングツアー」が新事業として4月よりスタートしています。市内をガイドの案内のもと電動アシスト付き自転車で周遊する本ツアーは川に頼らない新しいアクティビティとして注目を浴びています。

このようにまだまだ厳しい状況下ではありますが、HASSENBAの開業をきっかけに役員並びに従業員一同、一丸となって努力を行い絶体絶命のピンチを乗り越えてまいりたいと思います。

また、コロナ禍の状況の中で、その影響を大きく受けるシークルーズだけで球磨川くだりを支えるのは非常に困難な状況となっています。

関係各位におかれましては、今後はこれまで以上に踏み込んだ、本気のご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

